



学校教育目標

いきいき のびのび
☆かんがえる子
☆やさしい子
☆げんきな子
☆なかよくする子

令和7年10月10日発行 江別市立上江別小学校

URL <https://www2.ebetsu-city.ed.jp/kamiebetsu-es/>

令和7年度 前期保護者アンケートについて

お忙しい中、本アンケートにご協力いただきありがとうございました。このアンケートでは、お子さんの様子から学校教育について振り返っていただき、評価、ご感想ご意見をいただきました。これらを参考に、後期に向けて改善を図っていきたいと考えております。これからも、保護者の皆様のご協力をいただきながら、学校教育を進めてまいります。どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

※236家庭からご回答をいただきました

	そう思う	まあまあ そう思う	あまりそう 思わない	まったく そう思わない
1, お子さんは、学校が楽しいと感じていると思いますか。	50.8%	42.8%	4.7%	1.7%
2, お子さんは、授業がわかりやすいと感じていると思いますか。	30.6%	60.9%	7.2%	1.3%
3, お子さんは、落ち着いた学校生活を送っていると思いますか。	38.5%	48.7%	11.5%	1.3%
4, お子さんは、先生方が質問や相談にのってくれると感じていると思いますか。	42.9%	47.6%	7.7%	1.7%
5, 学校は、自信や根気を育む教育を実践していると思いますか。	35.7%	51.1%	12.3%	0.9%
6, 学校は、思いやりの気持ちを育む教育を実践していると思いますか。	36.6%	56.6%	5.5%	1.3%
7, 学校は、ルールを守るといった、規範意識を育む教育を実践していると思いますか。	44.4%	51.7%	3.8%	0.0%
8, 学校は、読書習慣を育てていると思いますか。	48.1%	43.0%	8.5%	0.4%
9, 学校の花壇は、きれいに整備されていると思いますか。	64.5%	35.5%	0.0%	0.0%
10, 学校は災害や不審者対策等、自らの命を守る意識を高める指導を行っていると思いますか。	42.6%	51.1%	6.4%	0.0%
11, 学校は、お子さんの外国語や外国の文化に対する興味関心を高める指導を行っていると思いますか。	32.3%	52.3%	14.5%	0.9%
12, 学校は、子どもの様子などをわかりやすく伝えていきますか。	29.8%	55.7%	12.8%	1.7%
13, 学校は、小中一貫教育のことをわかりやすく伝えていきますか。	16.2%	60.9%	21.3%	1.7%
14, 学校は、保護者の願いや期待に応える教育活動を行っていますか。	31.5%	59.6%	8.1%	0.9%

※数値は四捨五入しているため、合計が100にならない項目もあります。

※掲載しているご意見につきましては、個人が特定されるものは除外しております。また、同様の趣旨のご意見を省略している場合もあります。

「そう思う」「まあまあそう思う」の肯定的意見が90%以上となった項目が、14項目中9項目ありました。保護者の皆様からの高い評価に職員一同大変うれしく感じております。また日々の教育活動の励みにもなっております。なかでも本校で重視している「1. 学校が楽しい」は肯定的意見が93.6%、「2. 授業がわかりやすい」は91.5%、「6. 規範意識をはぐくむ教育の実践」は96.1%とかなりの高評価をいただきました。しかし、この3項目につきましては、100%に限りなく近づける必要がある内容であることから、後期も一層力を入れて取組を進めていきたいと考えております。

一方で「13. 小中一貫教育」の項目では、肯定的な意見が70%台にとどまっています。本校区で進めている小中一貫教育の取組について、まだまだ保護者の皆様に十分にお伝えできていないということがわかりました。下のご意見に対する見解にもありますが、今後、小中一貫教育に関する取組について、その意義や効果も含め、一層発信していきます。

また、その他の項目に関する内容も「そう思う」のご意見の割合を一層高められるよう取り組んでいきます。

【担任に関わること】

- ・子どもたちが楽しそうに登校できているので今のところ安心しています。
- ・子供が担任の先生に色々相談出来たりする環境でとても有難いです！
- ・ちょっとした問題が起きた時、子供達が担任の先生に相談し、解決は中々難しい問題でしたが気持ちに寄り添ってもらったおかげで、そんなに気にする事なくなりました。
- ・困った事がある時に担任の先生に相談をするとすぐに解決に向けて対策をしてくれるので良いと思います。
- ・特性があるのもあり、勘違いや行き違いで、友達とも上手く行かない事もしばしばですが、特性への理解をいただき学校での様子をご報告いただき安心しています。
- ・子供が小学2年から学校に行けていません。なので、子供がどのように学校に対して思っているのかアンケートに沿った回答をすることが難しいです。ですが、親としては今は学校の先生達にはとっても良くしてもらえて有り難い気持ちです。
- ・子供2人とも、先生のことが大好きで信頼しています。親としても、子供に寄り添って関わってくださり、とても有り難く思っています。
- ・担任の先生が、子供のことをよく見てくださっており、何かあった時は迅速に対処していただいている、とても感謝しております。
- ・色々な行事や日常の事も含め、先生や生徒と共に細やかに丁寧に取り組んでいるのかなと思います。
- ・朝、児童たちが花壇を談笑しながら整えていたり、廊下ですれ違うときに元気な挨拶をしてくれたりとても素敵だと感じています。先生方にも何かあった際は相談出来るのでありがたいです。
- ・娘は小食なので、給食残すことが多いみたいですが、がんばって食べられた時があって、先生から忙しいのに報告を頂きました。すごくうれしかったです。
- ・不安なことにはすぐ回答いただいたりご連絡頂けるので感謝してます。
- ・人見知りの娘が前担任や前々担任の話を未だにするのを聞いて娘にとって良い先生だったんだなと思ったからです。
- ・いつも大変お世話になっており、子供もいつも楽しかったと帰って来るので毎日ありがたく思っております。
- ・いつもお世話になっております。以前は学校に行くのが嫌で泣く日もありましたが、担任して頂いた先生方に配慮して頂いたり、担任ではない先生にも気に掛けて頂いたお陰で、3年になった現在は楽しく通学しています。物事を強要せずやる気を引き出す声掛けをして下さっているため、何事にも前向きに取り組んでいる気がします。
- ・子供のことで何かあった時に詳しい内容を連絡していただいて子供の様子がわかるので助かります。
- ・毎日元気な声で「いってきます！」と言って、家を出ていきます。それはきっと学校が楽しいからだと思います。学校が楽しいと感じられるように先生達が様々な配慮してくれてると感じています。
- ・正直、学校生活はもっと困るものだと考えていましたが、入学してから先生方のサポートが手厚く、学校が楽しいと通えています。常に本人のやる気を引き出してくれるので感謝しています。

- ・性格上あまり細かい話しはしてもらえませんが、毎日楽しく行っていると思います。その他に関してはまだ3ヶ月しか経ってないのであまりわかりません。子どもの安全面に関しては対応も早く、徹底していると感じるので安心してしています。
- ・学校への質問を連絡帳や電話で返事してもらえます。
- ・個人懇談の中で様子を伺え、相談があれば伝えやすい為良いと思います。
- ・小学校と中学校は連携は取れているかと思いますが、学校、先生方の考え方、生徒への接し方など違いなどあるように感じてしまいます。
- ・昨年度から学級便りが無くなり、普段の学校での様子や、お友達のことを知る機会が減り残念に感じている。
- ・学校の様子は学級通信で知らせてくれる先生が多いと思いますが、今年度1回も学級通信が発行されておらず、まったく子供の学校での様子がわかりません。先生によっては毎週のように発行してくれている先生もいます。毎週とまでは言わないまでも定期的に発行して、子供の様子を知らせてもらいたいです。
- ・クラスだよりが全くなく、学校の様子も先生の思いも伝わらない。
- ・今年度から学級便りの発行を廃止したのでしょくか。4年生になってから学級便りが一度もないため、クラスの様子や普段の様子が知れたら嬉しいなと思います。
- ・以前、こどもが友だち関係について悩んでいた時に、連絡帳で相談させていただきました。担任の先生からは「本人と話をしてよく見ていきたいと思います」とお返事をいただきましたが、子ども本人に先生と話ができたか聞くと「話してない」と返事があり、その後担任の先生からの連絡では「悩みはない」とのことでした。また中休みには教室にいなかったのも「誰かと遊んでいるのではないでしょくか」とのことでした。たくさんの児童を抱えていらっしゃる忙しいことは理解できますが、この件のあっさりとした対応についてはとても残念に思いました。

温かいご意見、感想のお言葉をたくさんいただきました。教職員の励みになります。ありがとうございます。引き続き後期も児童にとって「楽しい学校」「通いたい学校」に、保護者の皆様にとって「安心して通わせられる学校」になるよう努めてまいります。

一方で、学級だよりが減り、子どもの様子や担任の思いが伝わらないとの意見もいただきました。こうした声は、学校と家庭との連携を大切にされている保護者の皆様の思いの表れであり、私たち教職員一同、真摯に受け止めております。しかし近年、教職員の業務負担の軽減や働き方改革の観点から、お便りの発行頻度を減らす動きを進めています。今後もホームページ、学校便り、学年便り、tetoru、授業参観、個人懇談等、様々な手段を活用し、保護者の皆様とのつながりを大切にしながら、子どもたちの姿が伝わるよう工夫を重ねてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。ご家庭でも、お子様や学級のことで気になることやご不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なく学校までお問い合わせください。

ただ、保護者の方からのご相談をお受けしたにもかかわらず、丁寧な対応ができず、不安な思いをさせてしまったことがあったようです。大変申し訳ありません。ご意見を真摯に受け止め、児童や保護者一人ひとりに寄り添って対応することを職員一同心掛けてまいります。

【授業・家庭学習に関わること】

- ・外国語に関して、もう少し時間をとってもらいたい気持ちがある。家に帰ってくると、習った事を話してくれるので、やる気があるうちにもう少し踏み込んでもらえるといいなと思う。
- ・うちの子は全く興味がありません。御校が…とかではなく昔から外国に対する教育は日本は遅いと思ってるのももっと力を入れてほしいと個人的に思っています。
- ・水泳もスキーも選択制が廃止希望です。
- ・子供は喜んで参加させていただいておりますが、サイズアウトする度にスキー道具一式、プール道具一式、こちら負担に感じています。
- ・北広島でのプール授業の事故の件、長沼スキー場での小学生の事故の件を考えてもプール、スキー授業ともにもういらぬのでは？と感じています。
- ・授業で、先生が話し過ぎになっていないでしょくか。子どもたちが生き生きと授業でたくさん発言する姿はどれくらいあるでしょくか。
- ・授業で子どもたちに端末をどれくらい使わせているでしょくか。他校では低学年からでもタイピングができたり、自分から端末を開いて考えを書き、他者に発表したりしているのに、本校で

はそのような様子を感じることはできませんでした。先生が一生懸命モニターなどに提示したりする姿は授業参観でも見ますが、大事なのは、子どもがICTを使いこなせるようになることではないでしょうか。授業で端末を使うかどうかは、先生が決めるのではなく、子どもが自ら選択することが個別最適な学びだと思います。そのために、いつでも使えるような環境を整えることが教師の役割なのではないでしょうか。

- ・もちろん、見えないところで苦勞し、頑張ってくださっている先生がたくさんいらっしゃることはとても感じております。ですが、何よりも、子どもたちが楽しくワクワクするような授業をしてくださることを期待しております。
- ・毎週金曜日の宿題配信についてです。各担任が配信しているのか、どのような方法かはわかりませんが、せっかくタブレットを持ち帰っているのに、配信されない週があります。子供の話では、先生が忘れてたと言ってた…とのこと。何の為に持ち帰っているのか、疑問に感じます。宿題を出すならプリントで十分ではないでしょうか。調べ学習をするなら、どの家庭も、自宅のパソコン、タブレット、スマホでいくらかでも出来るはずで。タブレットの宿題は内容が薄いし、登下校する子供の負担が大きいです。持ち帰りは自由としてほしいです。
- ・タブレットをやめてほしい。特に漢字は間違った字を書いても正しい漢字が勝手に出てきて○になるので意味がない。週末家にタブレットがあるとYouTubeなど見てばかりになるので持ち帰らないでほしい。
- ・タブレットがかなり重たく毎週持ち帰ることにストレスを感じています。ぜひ改善をお願いします。

外国語に関して、貴重なご意見ありがとうございます。外国語に限らず、各教科における年間の標準授業時数は国で示されています。上江別小学校でも、国で示された時間に準じて学習計画を立てております。そのため、「外国語の時間を増やす」ということは全体の授業時間数を考えると難しいです。しかし、外国語の授業で学習した内容を他の時間や日常生活に生かす工夫はできるかと思います。今後の学習活動を進めるうえで検討していきたいと思います。

スキー学習や水泳授業につきましては、毎年のように用具の買い替えが必要となるなど、保護者の皆様にとってご負担が大きいことと存じます。また、近年ではこれらの活動中に事故が発生する事例もあり、ご心配されるお気持ちも十分に理解しております。しかしながら、スキーや水泳は、子どもたちにとって貴重な学習体験であることも確かです。現在、江別市内のすべての小学校において、スキー学習・水泳授業が実施されており、本校のみでこれらを廃止することは難しい状況にあります。今後も、近隣の学校や教育委員会と連携しながら、より安全で負担の少ない形での実施方法について検討を続けてまいります。保護者の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

タブレットの活用についても多くの意見が寄せられました。宿題の配信に関しては、学級・学年担任で配信することとなっています。配信忘れについては、大変申し訳ありません。今後、そのようなことがないように気をつけます。

タブレットの持ち帰りについては、江別市の教育方針で示されていることであり、それを受けて上江別小学校では毎週末持ち帰りを行っています。ご理解とご協力をお願いします。合わせて、今、子どもたちに求められていることは、「自ら課題や目標を見つけ、解決するために取り組む力」です。そのためには、タブレットによる学習は効果的であると考えられています。学校から与える宿題だけでなく、自分の課題に合わせた問題を選択して取り組むなど、自主的な活用をしていくよう、学校でも指導していきます。ご家庭でも「ただ問題に取り組む」ではなく、「自主的に取り組む」ことができる声かけをお願いします。

また、今後の国の方針として、デジタル教科書が紙の教科書と同様に正式な教材として制度化される方向にあり、授業においてもタブレット端末のさらなる活用が求められています。そして、ご指摘のとおり、子どもたちがICTを使いこなす、自ら学習ツールの一つとして選択し、主体的に学びを進めていけるよう支援していくことが重要です。そのためには、ICT機器を効果的に活用する力を子どもたちが身につけられるよう、私たち教職員も一層の研修を重ね、指導力の向上に努めてまいります。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【運動会に関すること】

- ・第一の要望として運動会の種目について。6年生の種目がリレーと徒競走だけなのが、あまりにも寂しく楽しめない。PTA役員として、本当にたくさんの保護者(5年生以外の学年も含む)から「6年生の種目どうにかできないの?」と言われますし、子ども達に聞いても運動会は全然楽しくないと言われます。私自身も近郊の学校の運動会を見に行きまして、他校と比べ上江別小の種目の少なさ、面白みの無さに愕然としました。時間の関係もあるかと思いますが、今後ますます児童数が減る現状を踏まえて今一度再考していただきたいです。午後まで開催なんて望んでません。子ども達が楽しいと思える運動会を実施して欲しいです。
- ・運動会をもう少し楽しくしてほしいです。中学校の方が楽しいです。子どもたちが楽しめるように改善できないでしょうか、、、、。
- ・運動会はコロナ以降、内容的にボリュームダウンをしたままだと思いますが、運動会のねらいはなんですか?それは子どもたちに伝わっていますか?他の行事も含め、ねらいと、その取組の成果や課題は共有されているのでしょうか。クラスの団結力を高めるのか、一人一人が自分のこれまでの記録を超えることなのか、そして、行事の終了後に子どもたちに振り返りをさせて成長につなげているのでしょうか。
- ・運動会について思ったことは、子どもたちが炎天下の中、青空の下で待機しており、テント等日陰で休めたら体力の消耗を抑えられるのではと感じました。

運動会は、「体力向上を目指す子どもづくり」「チームとしての学年・学級づくり」「主体的に活動する子ども(実行委員会)」をねらいとして行っています。これらのねらいが達成される運動会となるよう、今後も職員間で目的を共有し、話し合いを重ねていきます。運動会の取組を通して、子どもたちの成長が見られるような運動会を目指していきます。また、6年生の団体種目についても、子どもたちの発達段階や学年の特色を踏まえ、様々な観点から検討を進めていきたいと考えます。児童用のテントにつきましては、数に限りがあるため、全ての児童席に設定することはできません。校舎に戻って休憩する時間を設定したり、日陰の休憩スペースを設けたりするなど、その日の天候によって柔軟に対応することを検討したいと考えます。また、今年度も保護者の皆様には、ルールやマナーを守ってご観覧いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

【友人関係・個人に関すること】

- ・友達と仲良く過ごせているようで、学年が上がる度に楽しいと言う事が増えた。
- ・入学当初は心配な面や不安もありましたが、今では楽しそうに学校へ向かう子どもを見て安心しています。日頃から子どもたちの為にありがとうございます。宿題等で間違っているところは問題を変えて復習するようにしたら、理解しているようなので特に心配していません。生活面ではトラブルはありませんが、同じクラスの子の言動が気になることがあります。
- ・子供からの話を聞いて気になるのが、スマホを持っている子と持っていない子で距離感があるのかな?って思います。仲が良いお友達でもスマホを持っていないだけで、SNS(TikTokやLINE、instagram)での会話が出来ないとされたり色々疎外感があるようです。
- ・生徒には低学年でも死ねとか、バカとか言う子はいて、うちの子供が言われてるわけではないが、嫌な気持ちになっていた時期がありました。授業が止まるのも仕方ないと思います。学校の指導では限界があり親の責任だと思うが、折り合いつかない気持ちの子もいると思うのでそこは理解してほしいです。
- ・学校での様子を見たり話を聞くと楽しそうにしています。先生方もよく見て声をかけて話しをしてってくれています。それでもほぼ毎朝、学校がつまらないから行きたくない家でゆっくり遊んでいたいと言われるので対応に悪戦苦闘しています。なんとか送り出すので、先生方に手を伸ばし声をかけて受け入れていただけたら、もう少し学校に気持ちが向くのかなと思っています。どうしても無理!と言う時には思うようにさせてあげたいと思っています。心のエネルギーが充電されたら、またひと頑張りできるのかな、と。これからも一緒に見守っていただきたいです。
- ・懇談の度にクラスでとくに仲のいい子が何時までもできない相談をしてもかわらないので、これから宿泊や修学旅行が心配です。
- ・まだ3ヶ月なので詳しくは分からない。ただ学校に行きたがらないので困ってる。

【思いやりの心の育成】

本校では、思いやりの心の育成も最も大切にしている目標の一つです。日々の学校生活や学級活動、道徳の授業などを通して、お互いを大切にする態度の育成に努めています。しかし、学校では、子どもたちの乱暴な言葉や行動がみられる場合もあります。発達段階にある子どもたちが集う場ですから、友達同士で思いがすれ違ったり、折り合いがつかなかったりして、自分の気持ちを優先してしまったり、相手の立場になって考えることができなかったりすることはよくあることです。ただ、子どもたちはそのような経験を重ねながら、対人関係や自分の言動について考え、学んでいくものと考えています。学校は、そんな子どもたちの内面の成長を支援していきたいと考えています。

【情報モラル】

スマートフォンは、今や小学生でも所持・使用が当たり前の時代となっていますが、それに伴うトラブルは、本校でも増えてきています。学校では、主に高学年で、情報モラル教育を行っています。そのトラブルは学校外で起こるものであり、事情を確認するのは非常に難しいものがあります。所持・使用に関わっての一次的な責任はやはり、ご家庭にあるものと考えています。私たち大人ができることは、子どもたちがスマートフォンを「安全に」「健全に」使えるよう、ルールを設け、見守ることです。そして使用時間や場所、アプリの内容などを家庭で話し合い、子ども自身が自分の使い方を振り返る機会をつくるのが大切だと考えます。ぜひご協力をお願いいたします。

【不登校】

近年、不登校児童生徒は増加しています。背景には、心身の不調や、友人関係、学業不振、家庭環境など、様々な要因が複雑に絡み合っていて、原因を特定することが難しいものが多いものです。国では、「誰一人取り残されない学びの保障」を目指して、学びの多様化が進められています。江別市では、学校に行きたくても行けない子どもたちのために、教育支援センター「ねくすと」（野幌末広町）を設置しています。スクールソーシャルワーカー（SSW）を配置していますので相談に乗ることもできます。また本校では、教室に入れない児童の学びや不安の解消、心の居場所づくりなどを目的とした校内教育支援室「スペシャルサポートルーム（SSR）」を今年度から設けています。スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネーターに相談することもできます。簡単に解決できる問題ではありませんが、学校では、どの子も安心して登校できる学校・学級づくりに努めるとともに、子どもや保護者の方に寄り添いながら、最善の方法を一緒に考えていきます。

【学校運営、施設・設備に関すること】

- ・行事や参観日だけではなく、一斉公開日などで子どもの様子を見ることが出来るので、嬉しく思っております。いつも有難うございます。
- ・小中一貫教育というわりに中学校の情報が少ない。6年生だけが準備するだけではないと思う。
- ・小中一貫教育について、よく知らないので教えて欲しいです。
- ・環境適応するまでに我が子の問題も多く日々の対応に追われ、中学校生活まで見据えられないため小中一貫教育が「あまりそう思わない」の回答になりました。
- ・（「あまりそう思わない」という評価）にした理由は何を実践してるのかがよくわからない。
- ・アンケートにあった項目に対してどういう教育を実践してきたかよくわからなかった。
- ・例年暑さが厳しくなっています。水分補給、子どもに家で沢山伝えてますが、帰ってきて水筒を確認するとあまり減ってないことがあり心配です。先生方もよく声をかけてくれているのは存じてますが、暑さや熱中症対策により力を入れてもらえると保護者としても心強いです。ニュースなどで、ある学校で各クラスに小さな冷蔵庫があり、ヒンヤリング等冷やせて、帰りは冷たいまま帰れると聞きました。クーラーボックスにいれ利用するだけでも違うと思います。帰りは真っ赤な顔で帰ってくるので、色々のご検討してもらえれば幸いです。
- ・北海道も年々暑い日が続く例年通りではなくなっているため学校でも熱中症対策などしてくださっているのはとても有難いです。それでもやはり最近の北海道の環境では今まで通りではい

かなくなっていると感じるためエアコンなど、やはり必要になってくるのではと思います。学校だけの問題ではありませんが、これまでとは違う対策なども考えて頂ければと思います。気温が高い日のプールなど。

- ・この猛暑の中、なるべく早く各教室、体育館へのエアコン設置をお願いします。
- ・先日参観日に行った際に学校内の暑さに驚きました。子供達が熱中症で倒れないか心配でした。
- ・子供達が安心して授業を受けられるには、夏場の環境が大切だと思っています。スポットクーラーを取り入れています。本当に生活しやすい環境なのかというと違います。熱中症になってまでも勉強ができるとは思いません。保健室に通ったら良いではなく授業がしっかり受けれる環境を今一番に考えなければいけないと思います。エアコンの取り入れを考えてほしいです。
- ・最近物騒なので色んなパターンで身を守る術を学校でも教えてほしいなと個人的に思っています。
- ・夏休みの作品が負担なので、冬休み同様廃止していただきたいです。
- ・限られた人員の中、地域の児童数の変動などもありながら最大限に子供に寄り添った指導をされていると思います。ただ、登下校時の交通ルール等（学校の問題ではなく生徒と保護者の問題ですが）安全配慮の点で改善する余地はあると思います。
- ・学校は落ち着いていて、子どもたちも先生の話をよく聞く子が多いように思います。であれば、さらに子どもたちを伸ばしていくために、例年どおりの取組を見直し、毎年、工夫改善をしていくような学校になってほしいなと思います。
- ・ホームページ等で少しでも子どもたちの活動を分かりやすく見ることができると有り難いです。
- ・子供達の様子を学校全体のことを学校だよりで、学級での詳しいことを学級通信で伝えてくれてわかりやすい。

【小中一貫教育】

小中一貫教育については、4月に「一目でわかる第一中学校区 小中一貫教育」を配付し、PTA総会の中でもご説明させていただいたところです。各種取り組みの後には、学校だよりや学年だよりにてお伝えさせていただいたりもしておりますが、ご意見から、まだまだ保護者や地域の皆様に発信しきれていないのだと感じます。学校で取り組んでいる活動が、小中一貫教育とどうつながっているのか、どのような効果を期待した取り組みなのか、成果や課題はどのようなことなのかなど、その効果や重要性についてご理解いただけるよう、丁寧な発信に努めていきたいと考えます。

【暑さ対策・エアコンの設置】

近年は、北海道でも本州並みの暑さの日が多くなってきて、夏場の学習環境を整えるのが難しくなっています。本校では、学校の様々なところに熱中症計を設置し、その日の指数に応じて活動内容や場所に制限を設けています。各教室では2台の扇風機と1台のスポットクーラーを稼働させています。こまめな水分補給を促し、ネッククーラーの持参もよいこととしています。江別市では、小中学校に少しずつエアコンが整備されてきているところです。本校でも数年後には、エアコンが使用できるよう計画が進められています。もう少し時間がかかりそうです。上のご指摘にあったような対応は、個人のものの管理やスペース、用具などの様々な事情や条件を総合的に考慮し、さらにどんな対策をとれるか検討します。

【その他全般】

- ・子供が下校中に「お寿司が無料で食べ放題できるから来てね」と勧誘のチケットを2回程貰い、凄く行きたがってましたが止めました。野幌にある教会の団体ですかね？あまり無料で飲食できるからおいでという勧誘はどうかと思います。塾とか習い事、スポーツ少年団などは良いと思いますが。
- ・単純にうちの子の根気がないからかもしれないですが、比較的無理と判断したことは努力した気になってすぐ諦める傾向にあるように思います。6.うちの子は比較的思いやりがあるほうだと思ってますが、最近かけるところが見られます。年齢に応じた成長かもしれませんが学校生活からの影響もあるのかなと思っています。

- ・ルールは守るものだとして理解しています。しかし守らないことが増えました。うちの子の問題です。
- ・朝、子どもたちの通学の様子をみていて、ボランティアの方々に元気に挨拶をしている姿をよく目にしています。今後も続けていただきたいと思います。
- ・本を読むことが好きなので本を買ってと言われることが増えてきましたが、漫画です。小説とかストーリーに興味を持てるきっかけがあったらいいなと思います。

【下校時の勧誘】

子どもたちの下校時刻にあわせて、校地外でチラシ配りなどをして勧誘を行う業者や団体がおります。事前連絡をうけている場合がほとんどですが、校地外で実施していることですのでなかなか断ることもできない状況です。各ご家庭で判断をお願いします。

【子供の成長に関して】

「根気」「思いやり」「規範意識」「挨拶」は、まさに本校が子どもたちに身につけさせたい力として掲げているものです。これらが、しっかりと身につけている児童もたくさんおります。もし「根気がない」「思いやりにかける」「ルールを守らない」ということが、最近の子どもたちに多いのだとしたら、背景には、子どもたちを取り巻く環境の変化により、じっくり取り組む経験や人との関わりを深める機会が減っていることが考えられるのではないのでしょうか。学校では、日々の授業や生活の中で、粘り強さや思いやり、規範意識を育む教育活動を継続してまいります。今後ともご家庭と連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えています。

また、挨拶については、毎日の登下校時に街頭に立って子どもたちを見守ってくださっている「見守り隊」のみなさんから、「挨拶しても返してくれない子がいて寂しい。」といった声が聞こえてきます。引き続き、ご家庭と地域・学校が一体となって子どもたちに働きかけることが、大切だと考えます。

【読書活動】

学校では、子どもたちに読書に親しんでもらうため、様々な取り組みをしています。図書館の図書貸し出し、児童図書の購入、学級文庫の設置、全校朝読書の実施、図書委員会主催の啓発イベントの実施、読書週間の設定（6月・2月）など。また、「おはなしのへや」は各学級に年6回ぐらいのペースで読み聞かせをしてくれています。図書修理の会は、週に1回のペースで作業をしてくれています。ご家庭でも、親子で読書の時間を一緒に楽しんだり、読んだ本について話したりすることで、読書への関心を高めることができるのではないのでしょうか。

前期の教育活動について、評価とたくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございました。皆様からのご意見に対して、この紙面だけで、全てにお答えすることはできていないと思っております。さらに、ご質問等のある方は、学校までご連絡ください。

今回の評価・ご意見を参考にして、後期、よりよい教育活動を進められるよう、教職員一丸となって、取り組んでまいります。そして、上江別小の教育は、ご家庭や地域の支えがあって成り立っております。後期もご協力をよろしくお願いいたします。

後期の保護者アンケートは、11月末にお願いをする予定です。評価の対象期間が、夏休み後から11月までの3か月ちょっとになってしまいますが、次年度の計画づくりに生かすために、そのような日程となっております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。